



平成21年12月8日（火曜日）

生保内川癒しの交流 市民の集いが行われました

～ 8月3日を「田沢湖防災の日」に提案 ～

平成21年12月6日（日）、NPO 法人「癒しの溪流・里・まちネット」主催により「生保内川癒しの溪流市民の集い」が仙北市田沢湖町の「田沢湖総合開発センター」で開催され、当日は小雨という天気にもかかわらず30名程の住民が参加していました。

菅原前理事長からは、癒しの溪流検討会から2年間、「清流が流れる生保内川の原風景を残す」ことを目標にがんばってきた。花も咲いてきたので若者の目線で今後はがんばってほしい、という挨拶があり、田口新理事長からは「人と人の心のつながりを大事にまちづくりを進めていきたい」という挨拶がそれぞれありました。

第一部のパネルディスカッションでは、昭和35年水害で被害にあった沼田地区の住民代表をはじめ、市長、田沢湖病院院長らによる「田沢湖に学ぶ、安全・安心な癒しのまちづくり」をテーマに議論され、その中で「生保内水害を風化させないためにも8月3日を【田沢湖防災の日】として防災に関する活動をしていこう」という提案がされました。

第二部のアトラクションでは地元の民謡「生保内節」をはじめとした秋田民謡等で盛り上がりしました。

※ 開催状況 ※



○田口新理事長



○門脇仙北市長



○パネルディスカッション



○アトラクション